

も
く
じ

博物館と「郷愛」の像… P1 続 雪山久松こと久松八三郎… P3
北斎館が秀逸企画賞を受賞… P3 文化財防火デー 郷土博物館で消防演習… P4



【写真1】『祝 竣工記念 昭和61年10月27日 大谷田上区画整理組合』

足立史談

第697号

2026年3月15日
足立区立郷土博物館内
足立史談編集局
〒120-0001
東京都足立区大谷田5-20-1
TEL 03-3620-9393
FAX 03-5697-6562

博物館と「郷愛」の像

郷土博物館

さて、郷土博物館の建物とともに、四〇年を迎えたものに、正面駐車場脇に建てられた「郷愛」の像があるのをご存知ですか。農家の家族のブロンズ像です。郷土博物館が建設された博物館敷地と隣接する東湖江庭園敷地は、大谷田上（おおやたかみ）といわれた地域の区画整理の施行により、公共用地として提供された土地です。つまり郷土博物館の建設は、地域の区画整理事業と深く関連したもののなのです。奇しくもこのたび、「郷愛」の像に関わる資料をご寄贈いただきました。この像は、区画整理事業と、郷土博物館を結ぶ象徴なのです。今回は、郷土博物館を見守り続けてきた「郷愛」の像について紹介します。

「郷愛」の像の由来
「郷愛」の像は、大谷田上区画整理組合から郷土博物館（足立区）に寄贈されたもので、事業の竣工記念でもあります。像の制作者は、高橋剛（たかはしごう・本名 たけし）で、大正一〇年（一九二一）、山形県生まれ、東京美術学校（現、東京藝術大学）を卒業。東京家政大学の教授、金沢美術工芸大学の非常勤講師を務めました。日展等に作品を出展し、たびたび賞を受けました。高橋氏の作品は山形県の酒田市美術館にコレクションされています。現在の酒田市千代田に生まれ、生家は代々神社仏閣の木彫を仕事とする家だったということです。平成三年（一九九一）六月、逝去の三カ月前に故郷の芸術文化の振興のために彫刻作品の石膏原型一七八点が酒田市に寄贈されました。「郷愛」の像の制作が高橋氏に依頼された経緯は不明ですが、高橋氏の晩年の優作といえましょう。**挨拶文と像に込めた思い**
開館に先立ち一〇月二十七日、竣工記念碑除幕式並びに祝賀会が開かれました。「郷愛」の像のお披露目について、大谷田上土地区画整理組合による挨拶文があります。
この地域一帯は、かつて東京府南

四〇周年を迎える郷土博物館
足立区立郷土博物館は、昭和六十一年（一九八六）十一月三日（文化の日）に開館しました。今年、博物館開館四〇周年になります。令和八年度事業では、四〇周年を記念してさまざまな展示を開催いたします。

この地域一帯は、かつて東京府南